



新年のご挨拶



経営情報通信「チャンス！」を
いつもご愛読ありがとうございます。

新春のお慶びを申し上げます。

本年は、何か動く“期待”と“不安”の年明けだと感じる経営者の方も多いのではないのでしょうか。今、想定される国のイベントあるいは世界の流れが激しく流動する気配を感じます。国内では、景気対策としての財政出動とこれに伴う為替と税収の課題、ボーダレス化が深化する FTA や TPP の課題など、日本の将来に重大な影響を及ぼしかねない問題が目前にあるからかもしれません。

また、国際的には EU 問題にも見られますように先進国を中心とした国の財政悪化と金融緩和政策による通貨問題にも微妙なバランスが求められる状況となっておりますが、その結果生じる金利高・為替の動向・企業物価（卸売物価）上昇等のマイナス懸念を景気上昇が賄い、払拭させてくれるのか、多くの方が心配しながらも景気回復を期待するところかと思えます。

「いつまでも景気回復を待ってはられない」

長男は日本（本社）に残り、次男はインドネシアのジャカルタに骨を埋める。これは覚悟ではなく、現地で結婚し、“現地の法人”に成る捨て身で活路を見出そうとする中小製造業の実際の話であり、厳しさの一面を垣間見る思いです。配当という形でルピアが本社に還元される日はいつになるのでしょうか。

雇用の場を失い、資金を持ち出し（国が積極的に金融支援）法人税や所得税とさらに肝心なための技術までも流出し、その見返りには“貿易収支がダメなら所得収支の黒字を増す”という国家の期待は、本当に国民を豊かにしてくれるのでしょうか。雇用・事業継続そして事業承継を考えると、事業経営者の精神状態はいかほどのものと察するところです。

「成長戦略はまだ間に合う」

成長戦略は、国が決めるものでもないし、国が先頭に立って出来ることはほんの僅かな領域であり効果的ではありません。効果的で拡張性が高いのは、規制緩和（撤廃等）です。民間の創造性と活力を導き出す妨げとなっている規制を大胆に緩和することは、国がお金を使わずに実施出来る継続可能な成長戦略の一つです。新政権もその方向性を打ち出していますので、自主自立、自律の構えで創作の力を発揮する環境が広がり、世界との競合に対抗して行ける民活元年 2013 年となることを期待するところです。

ナセル株式会社では、税理士法人ゴーイングの監修の下、微力ではありますが経営者の視点に立った税務・法務・労務等、経営戦略に役立てていただける様、「経営情報通信 チャンス！」を引き続き発信させていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

執筆者一同：税理士法人 ゴーイング 代表税理士 山口 久行
税理士法人 ゴーイング 税理士 守屋 貴史
司法書士法人 芝トラスト 司法書士 宮本 敏行
佐藤事務所 社会保険労務士 佐藤 康三
竹馬社会保険労務士事務所 社会保険労務士 竹馬 大介

お問合せ：ナセル株式会社 東京都品川区南品川 4-2-32 品川税経会館 2F
TEL：03-3471-0830 FAX：03-3471-0850 E-mail：info-news@nasel.co.jp